



○ 様式 1 の作成方法

以下の書類に必要事項を記入します。申請書に記載する車両諸元は、申請する農耕トラクタの車両諸元一覧（P68 参照）・カタログ等を確認して記入してください。カタログ等に車両諸元が記載されていない場合は、車両を購入した販売店にお問合せください。

様式第一

受付番号

許可
特殊車両通行
認定 申請書 ()

道路管理者 市町村長 殿

①道路管理者を記入します。

2022 年 3 月 1 日

②通行開始日、通行終了日を記入します。
※申請期間は最大2年間

通行開始日 2022 年 4 月 1 日

通行終了日 2024 年 3 月 21 日

住所 東京都千代田区大手町 1 - 1

③申請者情報を記入します。

社 特車農場
TEL 00-1111-1111
TEL 00-1111-1111

④事業区分は『その他A』と記入します。

事業区分 その他A

⑤車種区分は『農耕トラクタ』と記入します。

車種区分 農耕トラクタ

⑥車両情報を記入します。複数車両を一括して申請する場合、代表車両の情報を記入します。農耕トラクタは上段に、直装型作業機及び被けん引車は下段に記入します。

車両番号	車名及び型式
川崎100あ1234	日本
他 2 台	ABCD

⑦申請する軸種数を記入します。

軸種数 1

⑧次頁の「車両諸元について」を参考に記入します。なお、複数車両を一括して申請する場合、各車両諸元の最大値（最遠軸距及び最小隣接軸距は最小値）を記入します。

	幅	高さ	長さ
車両諸元	総重量	最遠軸距	最小隣接軸距
	4,940 kg	230 cm	230 cm
	隣接軸重	長さ	
	4,880 kg	630 cm	
	幅	高さ	最小回転半径
	273 cm	260 cm	360 cm
	最大軸重	最大輪荷重	
	2,500 kg	1,250 kg	

⑨通行区分は片道又は往復と記入します。

通行区分 往復

⑩通行経路(出発地-目的地を結ぶルート)数を片道 1 経路として記入します。

通行経路数 3

更新又は変更経緯

申請内容	年月日	許可番号	車両台数	総通行経路数	変更事由
新規時			/		
前回					

⑪新規申請の時は記入しません。

【包括申請の場合】

複数車両を一括して申請（包括申請）する場合、車両内訳書に全ての車両の情報を記入します。様式（別記様式 1 の 3）は以下 URL よりダウンロードできます。

URL : <https://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/download/index.html>

※車両諸元について

- 総重量 : トラクタの重量 + 作業機（直装型作業機又は被けん引車。以下同じ。）の重量 + 運転者の体重（55kg）の合計を記入します。ただし、被けん引車に堆肥等の貨物を積載する場合には、当該貨物の最大積載重量を加えます。
- 最大軸重 : （トラクタ + 作業機の軸数の合計がn軸の場合）総重量のn分の1を記入します。
- 隣接軸重 : 総重量が20トン以下であれば記入不要です。ただし、申請者は、道路管理者の求めがあれば、車両諸元一覧、または実測により記載を必要とします。
 - 記載を必要とする場合
 - （トラクタ単体の場合）トラクタの総重量を記載
 - （トラクタ + 直装型作業機の場合）トラクタの総重量を記載
 - （トラクタ + 被けん引車の場合）被けん引車が1軸の場合はトラクタの総重量を記載、2軸の場合はトラクタの軸距と被けん引車の軸距のどちらか短いほうのトラクタ又は被けん引車の総重量を記載
- 最大輪荷重 : （トラクタ + 作業機の軸数の合計がn軸の場合）総重量のn×2分の1を記入します。
- 長さ : トラクタの長さ + 作業機の長さの合計を記入します。
- 幅 : トラクタの幅と作業機の幅のいずれか大きい方を記入します。
- 高さ : （トラクタ単体の場合）トラクタの高さを記載
（トラクタ + 直装型作業機の場合）トラクタの高さと直装型作業機の高さ + 20cmのいずれか大きい方を記載
（トラクタ + 被けん引車の場合）トラクタの高さと被けん引車の高さのいずれか大きい方を記載
- 最遠軸距 : 総重量が20トン以下であれば記入不要です。ただし、申請者は、道路管理者の求めがあれば、車両諸元一覧、または実測により記載を必要とします。
 - 記載を必要とする場合
 - （トラクタ単体の場合）トラクタの軸距を記載
 - （トラクタ + 直装型作業機の場合）トラクタの軸距を記載
 - （トラクタ + 被けん引車の場合）（トラクタの長さ + 被けん引車の長さ） - （トラクタ前端から前軸の中心までの距離 + 被けん引車の後軸中心から被けん引車の後端までの距離）を記載
- 最小隣接軸距 : 総重量が20トン以下であれば記入不要です。ただし、申請者は、道路管理者の求めがあれば、車両諸元一覧、または実測により記載を必要とします。
 - 記載を必要とする場合
 - （トラクタ単体の場合）トラクタの軸距を記載
 - （トラクタ + 直装型作業機の場合）トラクタの軸距を記載
 - （トラクタ + 被けん引車の場合）被けん引車が1軸の場合はトラク



- タの軸距を記載、2軸の場合はトラクタの軸距と被けん引車の軸距のどちらか短いほうを記載
- 最小回転半径 : (トラクタ単体の場合) トラクタの最小回転半径を記載
(トラクタ+直装型作業機の場合) トラクタの最小回転半径を記載
(トラクタ+被けん引車の場合) 申請のあったトラクタ+被けん引車と幅及び長さが同一以上の『農耕トラクタ及び作業機の代表的な組合せの軌跡図』(P68参照)より選択し、その最小回転半径を記入します。
 - 軸種数 : 申請する軸種の数を記入します。例えば、「農耕トラクタ単体」のみを申請する場合は1、「農耕トラクタ単体」と「農耕トラクタおよび被けん引車(1軸)」を包括申請する場合は2を記入します。

※更新又は変更経緯(新規申請の時は記入しません。)

- 年月日 : 許可を受けた日を記入します。
- 許可番号 : 許可証に記載されている番号を記入します。
- 車両台数 : 単車の場合は「トラクタ台数/」とし、連結車の場合は「トラクタ台数/作業機台数」を記入します。
- 総通行経路数 : 通行経路数(往復1経路の場合は「2」とする。)×申請車両台数(トラクタの台数)の値を記入します。
- 変更事由 : 変更申請の場合には変更の事由(例えば経路変更等)を、更新申請の場合には「許可期間の変更」と記入します。

○ 通行経路図の作成方法

詳細な通行ルート of 指定に代えて、簡略化した経路図のみで申請を行うことが可能です。

地図に通行経路を太線で表示するとともに、出発地および目的地を明示し、いずれもボールペン等の修正できないもので記入します。通行経路数（片道 1 経路）を図面の隅等に記入します。

